

2018-1-1 猿の肝臓

高野真帆

提出機関

Department of Pathobiology Ross University School of Veterinary
Medicine (セントクリストファー・ネイビス)

症例

アフリカミドリザル(*Chlorocebus aethiops sabaesus*)、4歳、オス

病歴

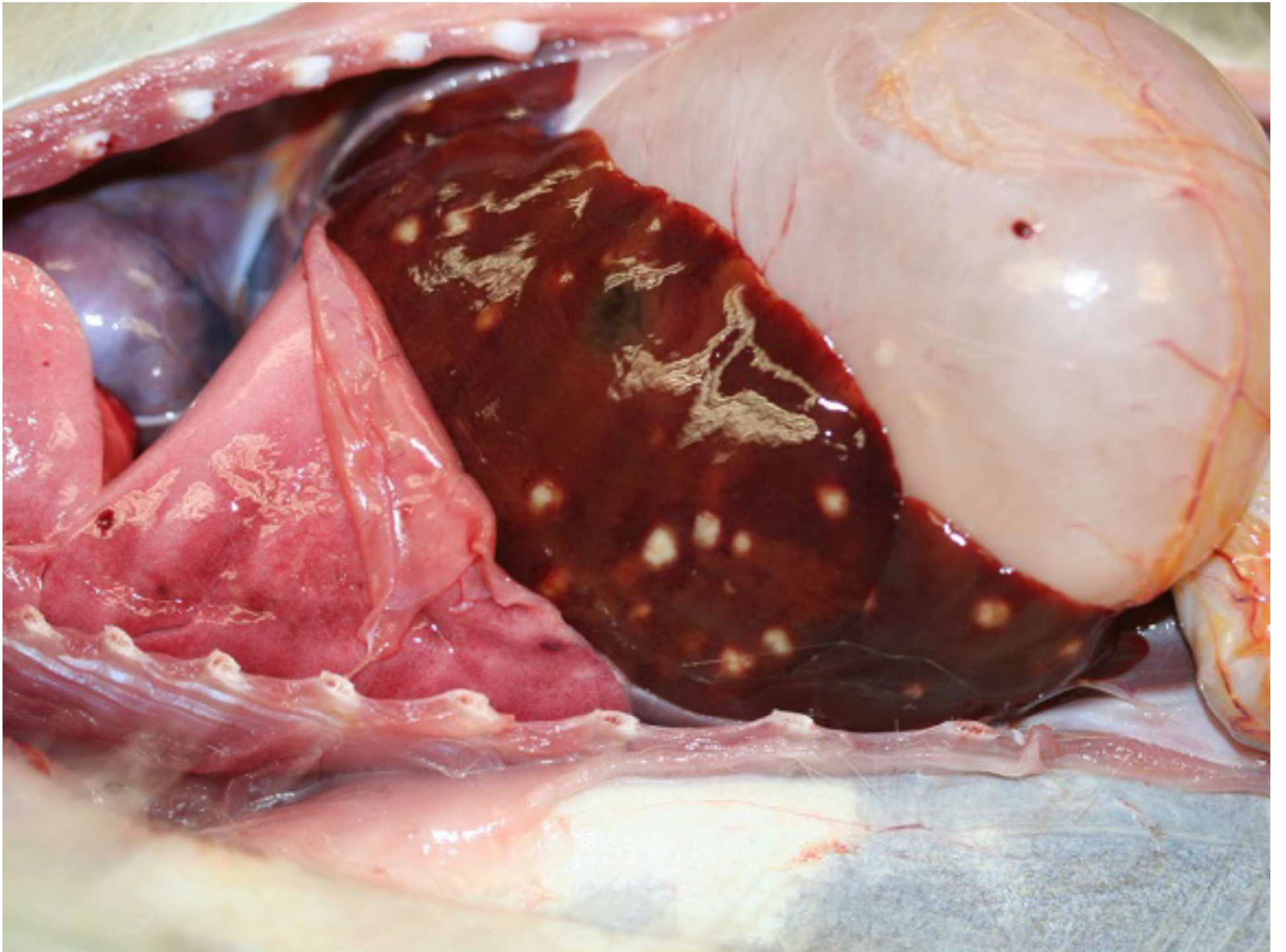
- アフリカミドリザルの育種集団の一部で腸疾患が発生し、同群の多数の猿が沈鬱、下痢、脱水を呈した後に短期間で死亡。
- 同群の一部は死体で発見された。
- 本症例の個体は出血性下痢、発熱、重度の脱水を呈した後、安楽殺された。
- テトラサイクリンの投与により死亡率が低下した。

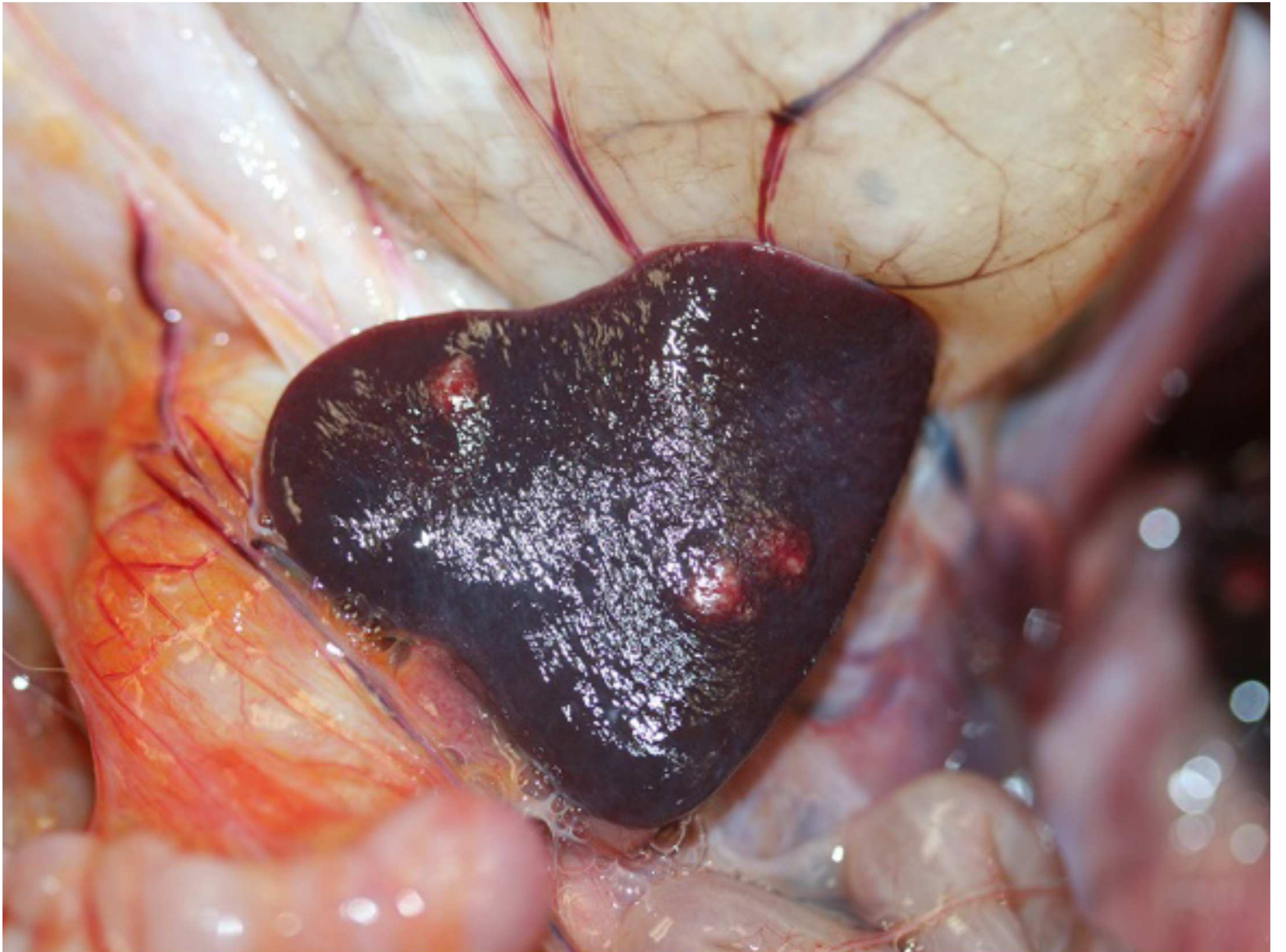
肉眼所見

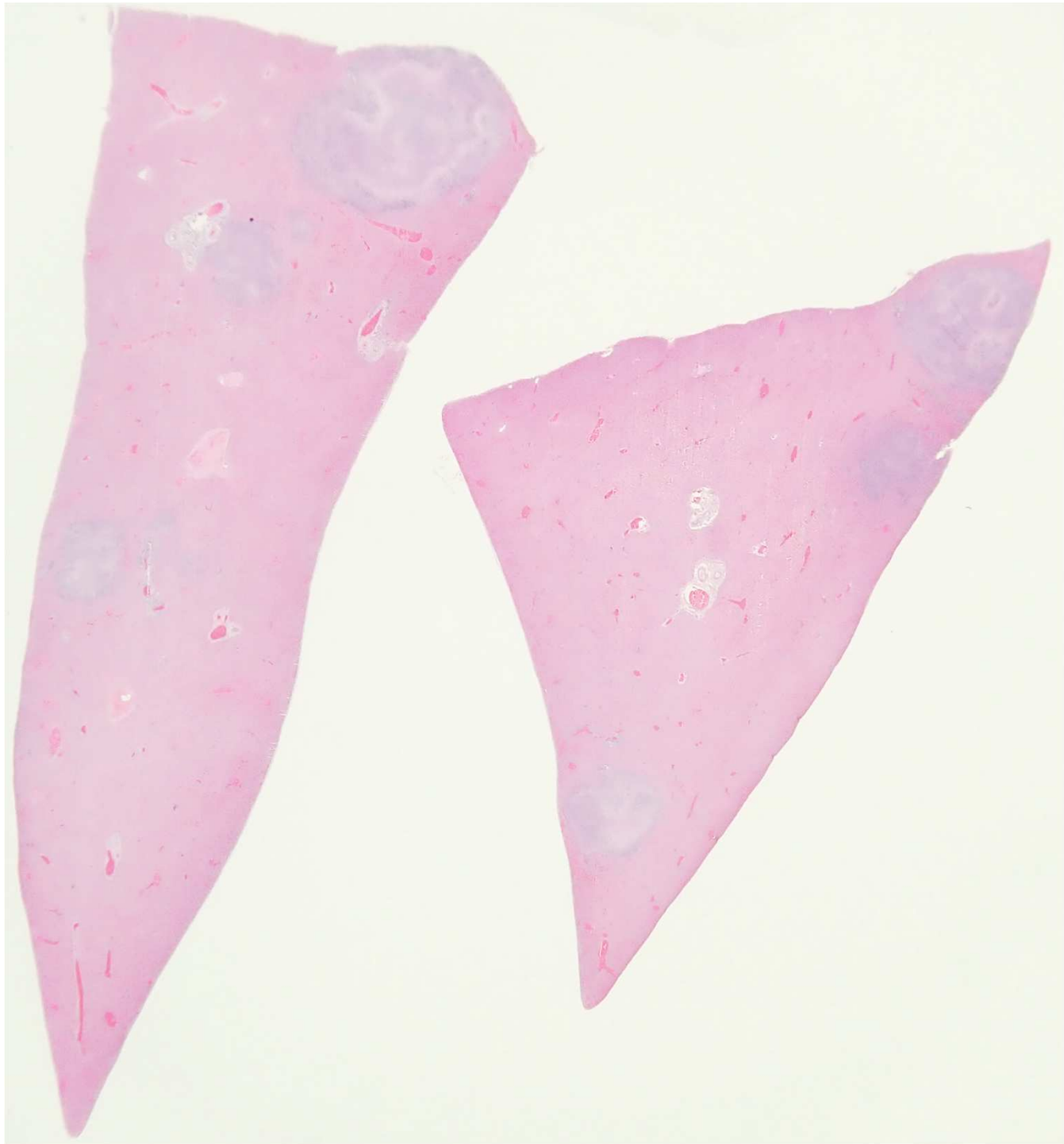
- 外貌 : 削瘦、やや脱水、会陰部に血液を帯びた糞便が付着
- 肝臓 : 大小不同の白斑が多発し、その断面は乾酪化
- 脾臓 : 肝臓と同様の白斑、やや腫大
- 皮下組織 : 多発性点状出血
- 胃 : ガスの貯留により著しく拡張
- 小腸 : 粘膜がび漫性に赤色化
- 盲腸・結腸 : 血液を帯びた粘液貯留、鞭虫属を確認

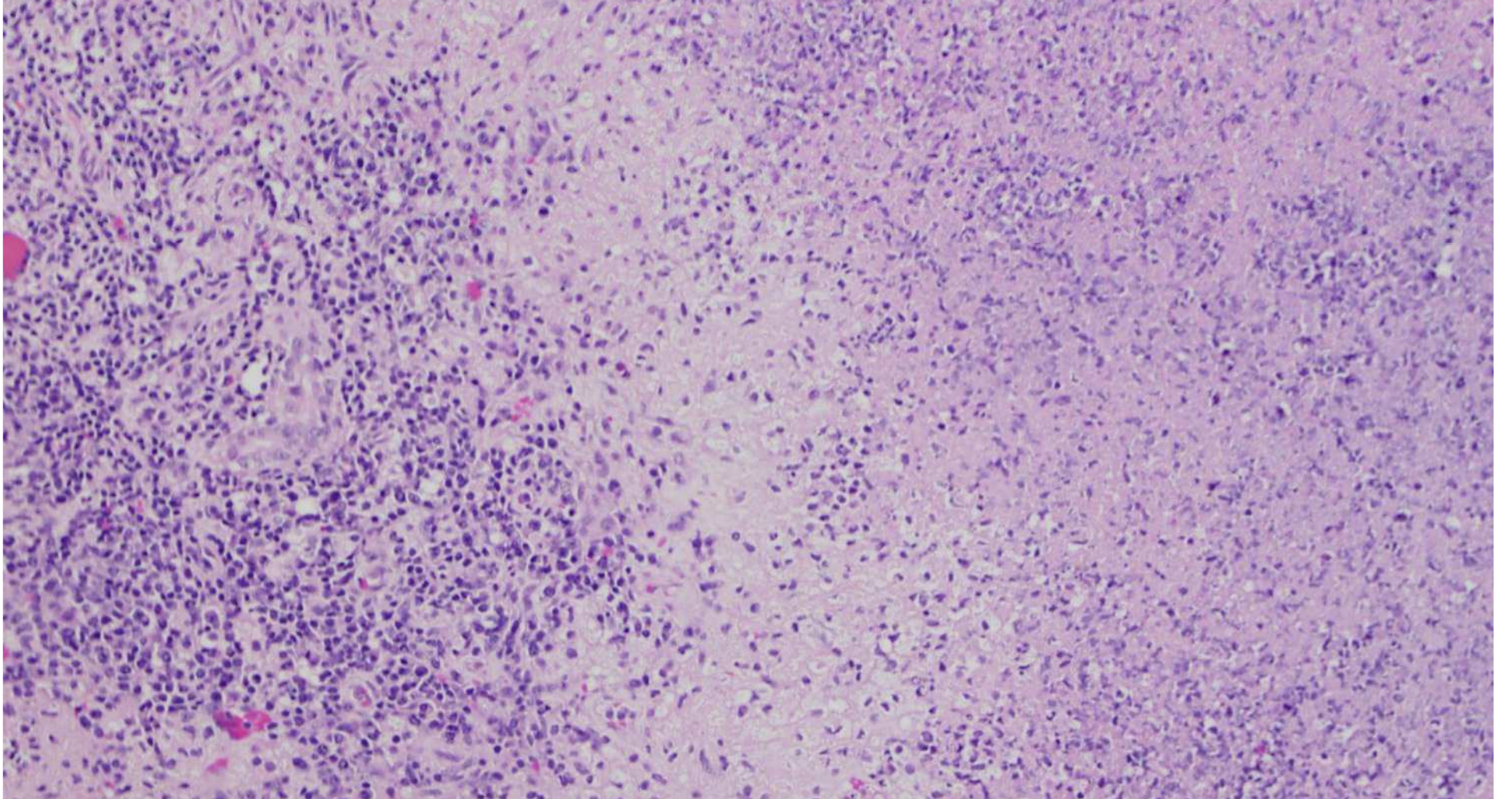
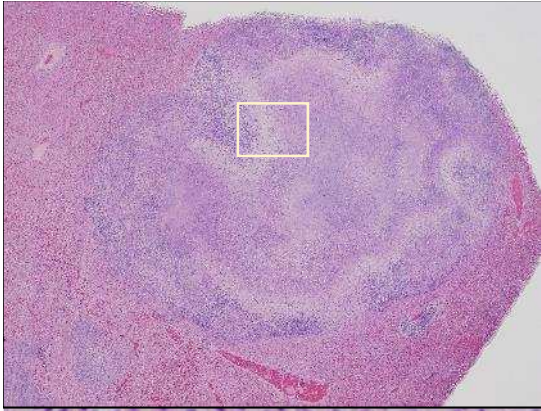
検査結果

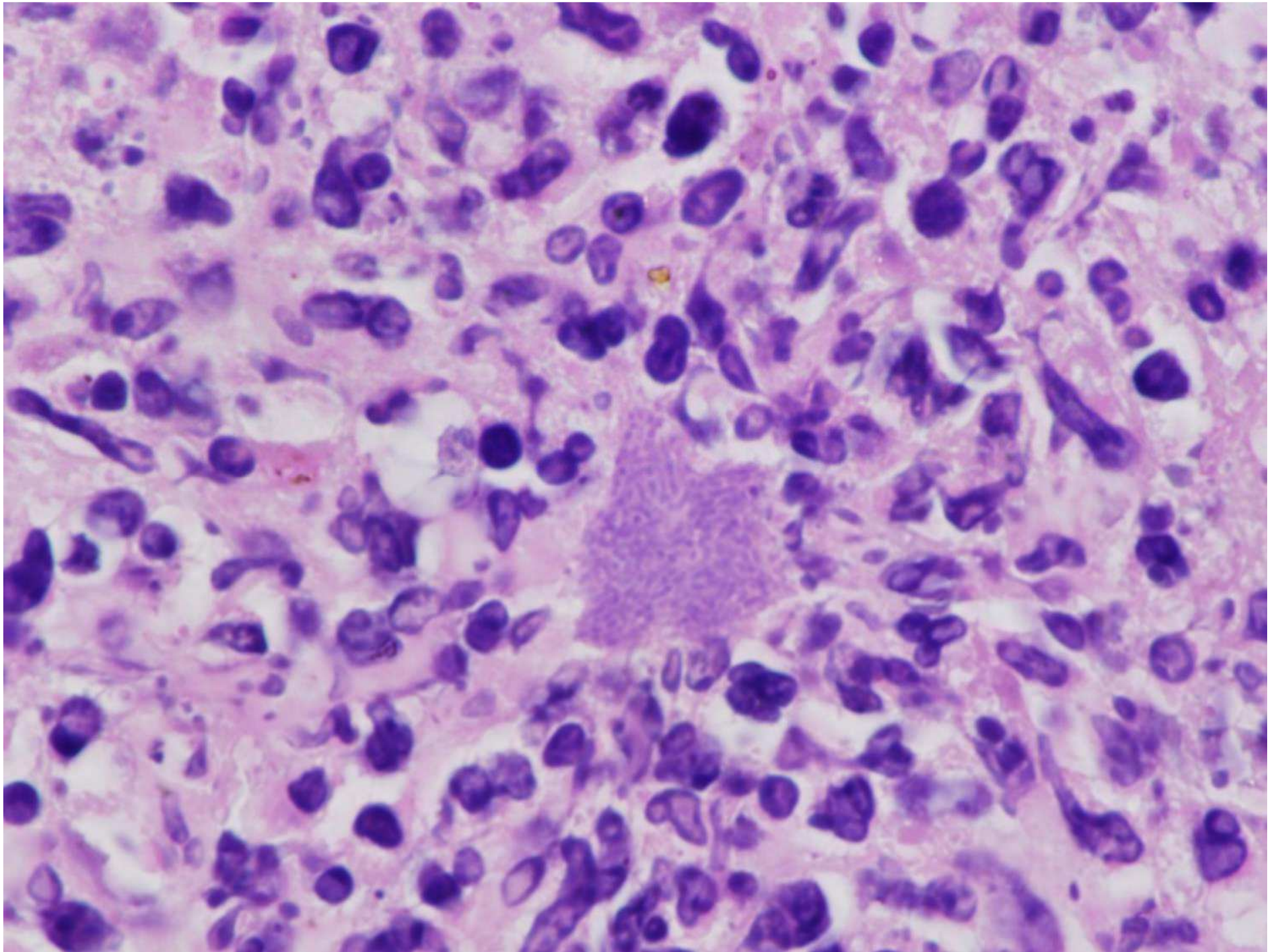
- 肝臓及び脾臓スワブから *Yersinia enterocolitica* を分離
(16S rRNAシーケンスにより同定)
- Random Amplified Polymorphic DNA(RAPD)解析で
血清型O:7,8と相同的











提出者の診断

肝臓および脾臓：壊死性化膿性肝脾炎、多巣性、亜急性。
グラム陰性菌のコロニーを伴う。

Liver and spleen: Necrotizing and suppurative hepatosplenitis, multifocal, subacute, with gram-negative bacterial colonies.

JPCの診断

1. 肝臓：肝炎、壊死性、多巣性から融合性、顕著。
細菌の大型コロニーを伴う。
2. 脾臓：脾炎、壊死性、多巣性、顕著。
桿菌の大型コロニーを伴う。

1. Liver: Hepatitis, necrotizing, multifocal to coalescing, marked, with large colonies of bacilli.

2. Spleen: Splenitis, necrotizing, multifocal, marked with large colonies of bacilli.

エルシニア属菌

- 腸内細菌科のグラム陰性通性嫌気性菌
- 14種に分類される
- *Y. pseudotuberculosis*, *Y. enterocolitica*, *Y. pestis* (ペストの原因菌)がヒトとその他の霊長類に病原性をもつ
- 環境中に広く存在し、水や環境の糞便汚染や食品汚染により感染が広がる
- 豚や野生の齧歯類、野鳥が自然宿主と考えられている

霊長類のエルシニア症

- *Y. pseudotuberculosis* 及び *Y. enterocolitica* による急性致死性の腸疾患または食欲不振・下痢・消瘦を呈する慢性腸疾患
- *Y. pseudotuberculosis* の方が病原性が高いといわれているが、両者を肉眼的・組織的に区別することは困難
- 菌株や宿主のほか、ストレスや行動的要因、年齢も症状に影響する

本症例では ▷ 若猿で死亡率が高く、発生が続くにつれて成猿に影響が出た
 ▷ 感染源は特定されていないが、周囲で野鳥や齧歯類が確認された

Y. enterocolitica

- 60以上の血清型に分類される
- そのうち10程度がヒト及びその他の霊長類に病原性を持つ
- 血清型O:8が非常に病原性が高い

▷ 北米に限局していたが、近年では日本でも野生のネズミ、ヒトから分離された

Y. enterocolitica O:8による疾病発生事例

○ 日本の動物園における発生

- 2002年、関東の動物園
- コモンリスザル5匹、アジルテナガザル1匹が下痢を呈した後、死亡
- 疫学調査でコモンリスザル及び他種のサル、周囲で捕獲した野生のクマネズミからも*Y. enterocolitica* O:8を分離

○ アメリカにおける集団食中毒例

- 症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹部痙攣
- ミルクチョコレートが発生原因
- 学生200人が症状を呈した

▷ 入院患者の一部で虫垂切除を実施
急性虫垂炎と類似の症状を呈したか